

保険医年金
切迫る!
今年度申し込みは
10月25日まで

石川保険医新聞

発行所
石川県保険医協会
金沢市尾張町1丁目9番11号
〒920 尾張町レジデンス2F
電話 (0762) 22-5373番
発行人 平松昌司
印刷所 ユーアイ印刷

検証 薬価における消費税 許せない税率引き上げ

一九八九(平成元)年に消費税が導入されて五年になろうとしている。導入当時の反対運動がうそのように、この間接税制度が定着している。そして今、当初危惧された税率の引き上げが、所得税減税とセットでなされようとしているのである。

この流れは、当初からの我々の予想のとおり、財政局がはじめから想定していたことにはかならない。「日本株式会社」を経営していくための規定路線といえよう。

我々は税率引き上げに対しては、きびしい目で監視していかなければならないのはもちろんであるが、ここで、開業医の立場から現在の消費税制を考えてみよう。

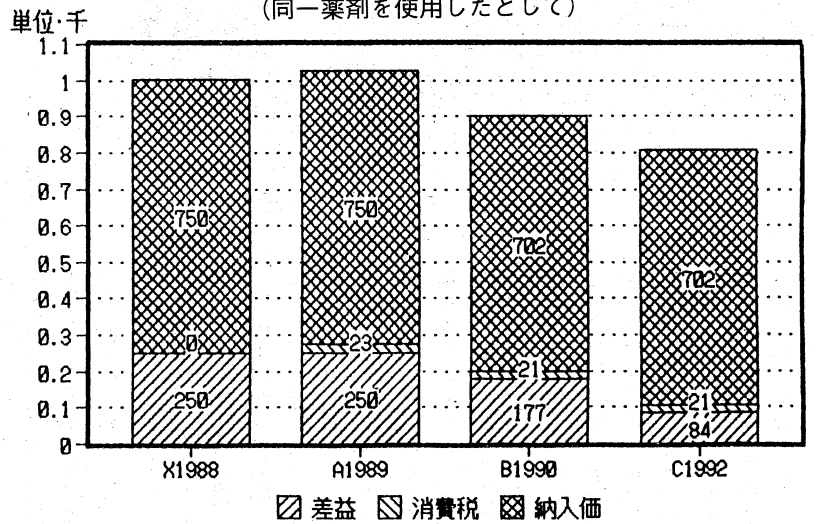
消費税が導入されたとき、保険診療に対して非課税措置がとられたため、医療機関は、消費税の最終被課税者となった。税務当局は、このとき医療機関への影響を小さくするためと言って、日医との合意で薬価のみ税率分のアップを行った。そのころ、消費税導入で赤字になるか赤字になるかといった計算が行われ、値引き率が二五%以上で薬剤を購入しているなら得をする、というような計算結果を示され、ほとんどの開業医ではなかったであろうか。そのころの薬剤の値引き率が二五%程度であったので無理からぬことである。

しかしながら当時から今日に至るまでの薬価の改訂をながめてみよう(下図)。Aのカラムは消費税導入時の臨時改訂である。確かに消費税相当分は上乗せされている。薬価は上がったが納入価は据え置かれた(消費税負担後の薬価差は変わっていないことに注目)。Bのカラムは翌一九九〇年の薬価改訂後の薬価である。この時点で、厚生省の改訂のために基礎とした納入価は、税込みではなく税抜き価格であった。そのため、見かけ上、いわゆる薬価差は消費税を上乗せした値となり、一九九〇年の改訂で前年補填された薬価の消費税分はもの見事に消滅したのだ。

日々の診療や経営に忙しい開業医の中でこのことに気付いた者は少なかったのではなかろうか。そして、カラムCの一九九二年改訂である。ここでは、R幅(Rewritable)にして建値制の完全実施

薬剤価格の推移

(同一薬剤を使用したとして)



持論

九月十六、十七日に開催された第百二十二回日歯代議員会において、執行部提案の『歯科診療報酬に特定療養費制度を導入する』が総論的に合意を見て、各論については執行部に一任されることになった。

その内容は次の三項目である。

- 一、現行の歯科材料差額の廃止は要求しない。加えて、現行貴金属以外の歯科材料を差額の対象にできる可能性があり、各論については一任して欲しい。
- 二、現行の材料差額方式に加え、新方式を導入する。例えば、8020運動(八十歳で二十本歯を残す)に関連した健康診査、

軽減されない 薬剤の消費税

健康管理料等の保険給付化、または特療化を推進する。

三、現行保険給付の一部を特療化し、診療報酬点数を基礎とした差額方式の検討。

デメリット多い 特療拡大路線

第三案の保険外し特療化に関しては、医師の『給食料のうち調理料を保険からもらい、材料費を患者負担にする』という、一部アメニティ化が挙げられて

だろう。医療者側がアメニティ部分を活用して、高額な患者負担を求めたとしても、支払える患者は増加するとは思えない。

他方、この第三案は、政府の

公的医療費縮小政策に戻り、保険給付を削る方向に進むものもある。医療機関は、アメニティに期待できず、保険給付枠も減少するとなれば、経営は一層困難になるのではないだろうか。

このようなデメリットの多い特療拡大路線に賛成するわけにはいかない。

日歯執行部は「特療の基本は自由診療であり、差額料金は青天井」と主張するが、仮りにメタルボンドが特療に導入されれば必ず枠がはめられ、自由な裁量はありえない。このような重大な問題は代議員会などでも慎重に議論され、その内容が一般会員に公開されるべきである。

このように薬剤費を取り上げてみると、医療費非課税の大義名分の下、開業医は薬剤の最終消費者でないにもかかわらず、純粋に消費税の最終被課税者になっていることをもう一度考え直してみる必要があるだろう。

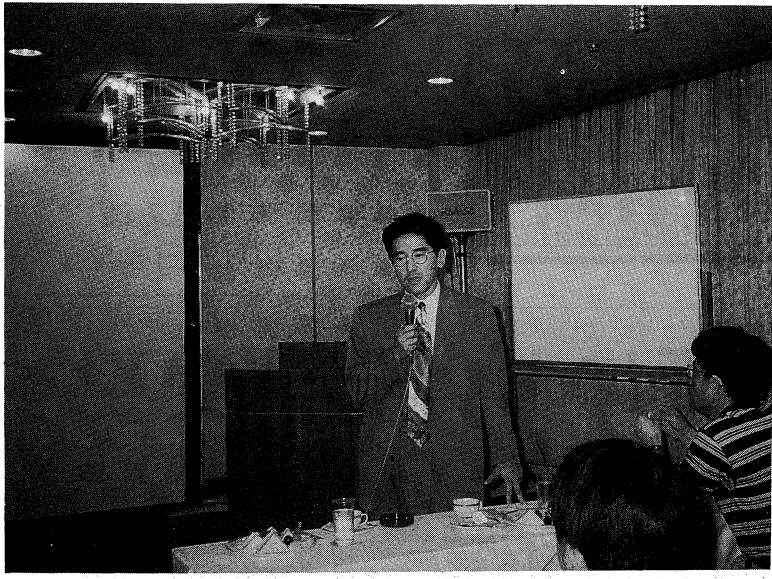
ちなみに、現行の三%の税率で計算すると消費税負担額は購入薬剤費を三千万円と仮定すると九十万円になる。今、取り沙汰されている五%、七%、一〇%ではそれぞれ百五十万円、二百十万円、三百万円にもなるのだ。

この際、この理不尽な増税に対する手だてを早急に考える必要があるだろう。

医心凡語

この度、本紙に連載中の栗野利雄先生の「記念碑めぐり」が一冊の本として発行された。題して『かがの』と世紀の群像―記念碑めぐり―である。本紙に携わっている機関紙部員の一人として大変嬉しく、かつ、誇りに思っている。その出版記念パーティーが九月十一日、厚生年金会館で華々しく催された。パーティーについては本号に掲載されているので割愛する。ここでは少しばかり本について紹介したいと思う。

初めて本を見たとき、そのえも言われぬ雰囲気を感じ入った。安藤良一先生が描かれた表紙、騎士の武者群がその雰囲気を増している。ページを開くと申年に描かれたという水彩画、そして発行されるにあたっての経過と動機について記してある。続いて四十二カ所の「記念碑めぐり」がある。毎回、分かりやすくしかも簡潔に的を得た文章が綴られている。先生独特のユーモアも混じり楽しく読める。また、記念碑の横に立つ先生(時には安藤先生と二人)の写真が楽しさを倍加させ、筆者は大好きなところどころに油絵とそれに対する俳句が挿入してあり、芸術的才能の皆無な筆者でも思わず微笑んでしまう。あまり詳しく紹介すると本を得た時の興味が半減するのでこの辺で止める。本紙読者諸氏の一読をお勧めする。



講師の村山偉知朗先生

歯科講演会

自家歯牙移植は補綴を変えるか

明快な理論の展開ですっきりさわやか

平田米里 (野々市町・歯科)

九月四日(土)、金沢都ホテルで「自家歯牙移植は補綴を変えるか」をテーマに歯科講演会が開かれました。講師は富山市で開業するムラヤマ歯科医院院長の村山偉知朗先生で、三十四人の参加者を迎え盛会かつ有意義な講習会となりました。

戦後最大級と発表報道された台風十三号が九州地方に上陸した九月三日(金)、村山先生と最終の連絡を取った。明日は九割方中止だなあと思いつつも、進路が大きく金沢市をはずれるか、勢力が激減弱退することを祈って、講演会当日の午前三時過ぎまでテレビの台風情報を見ていた。遅い朝に目覚めた。風は若干強いが晴天、台風はどこへ行った。これならできろ！

午後六時三十分からの講演に、三十四人の先生方が集まって下さった。感激。以下、講演内容を要約する。 戦後最大級と発表報道された台風十三号が九州地方に上陸した九月三日(金)、村山先生と最終の連絡を取った。明日は九割方中止だなあと思いつつも、進路が大きく金沢市をはずれるか、勢力が激減弱退することを祈って、講演会当日の午前三時過ぎまでテレビの台風情報を見ていた。遅い朝に目覚めた。風は若干強いが晴天、台風はどこへ行った。これならできろ！

歯牙移植が今一つ普及しないのは、「予後の不安」のためであったと思われる。冷凍保存された抜去歯牙の移植ならば、骨性癒着、歯根吸収、脱落の終末を迎える。五年くらいもてば良しとするものであった。 その一方、一九八五年に飯島国好先生の外科的延出術(抜去歯牙を百八十度回転し、再植)の報告があったり、一九八〇年の「Z-Home」氏の有名な「新付着」の実験がヒントになり、温められていた考えが確信に変わった。つまり、抜去歯牙の歯根表面に歯根膜が残っていたら、その中の未分化間葉細胞の脱分化→再分化する能力により、歯根膜は再成するのである。

そこで村山先生は、それなら無菌顎堤への移植も可能はずだと判断し、臨床に移したわけである。 ①移植床の骨を露出させる。 ②移植予定歯牙の抜去、保存液への浸漬。 ③抜去歯の形態を肉眼で観察しながら、移植窩の形成。特別なドリルでなくても可能。内部注水式もあるが、点滴セットで助手に生食を当てさせながら施行しても充分可。 ④当然ながら、移植後の歯根膜の上縁は、骨頂の一ミリメートル上にくるのが良い。

⑤固定は軽くマレットイングして、動かなくなれば良い。 ⑥歯肉の緊密な縫合が大切。コーパックする方が治療が良い。 ⑦根管治療は、術後三週間をメドに始める。 ⑧上部構造体は、三週間後からプロビジョナル

ストレーションで生理的咬合力を与え、一カ月半後から。 以上、実に明解な理論の展開。すっきりさわやか。台風一過、気分快晴でした。

「美浜原発・もんじゅ」公害視察会 報告

安藤 良一 (金沢市・内科)



美浜原子力PRセンターの前で... 石川県から参加した5人の医師

九月二十六日(日)、晴れ。さわやかな秋風の朝、宿泊地の敦賀市は北国グラウンドホテル玄関に集まった視察団の善男善女御一行四十人は、前日の講師、京都大学原子炉実験所の小出裕章先生に洗脳された意欲満々の表情でバスに乗り込みます。 初めに、関西電力美浜原子力PRセンターを訪問、丹生大橋でつないだ目と鼻の先に発電所の全景が望まれます。『原発は安全で、素晴らしいエネルギーを供給します』といったバラ色の館内で、係員の説明やマルチビジョンでPRされ、好天も手伝う浮かれ気分が発電所のゲートを開く。現在稼働中の一号機と整備中の三号機に狭まると、一昨年の冬に大事故を起こした二号機が、炉内の蒸気発生器を丸ごと交換する大工事を行うべく、赤茶けた足場を取り付けて聳立しています。外観見学後に工場内部を視察させてくれる予定が、突然その場で理由不明のまま断わられまし

切。コーパックする方が治療が良い。 ⑦根管治療は、術後三週間をメドに始める。 ⑧上部構造体は、三週間後からプロビジョナル

た。原発にまつわる不信、不透明を生で体験したハブニングでした。見学者名簿を見ての判断なら尚更です。 次のスケジュールは、猛毒プルトニウム燃料の高速増殖炉もんじゅ工場の外形見物です。ここは初めから「不可侵」で、遙か手前の道路に立入厳禁の鎖が張られています。白砂青松の海岸線沿い数キロメートル先

のコンクリート城をしばし眺めやしながら、「どこかの国のミサイルが、あれに照準を合わせているかもしれない」など各自各様の思いに耽りました。 昼食は若狭湾の刺身で舌鼓を打ち、引き続いて地元住民として三十年も原発反対運動を展開しておられる町議の山口寛治さんに話を聞きました。話題は美浜原発

の歴史から、何人もの現場労働者の被爆例、地元への対応、そして二号機事故の説明文に及び、私共は時間の経つのも忘れて聞き入りました。次に、示された関西電力の資料に従って事故当日を再現します。 ★一九九一年二月九日十二時四十分、A蒸気発生モニターの指示値上昇。 二次冷却水に放射能が混入の疑いで水の測定。 ★一時間後の十三時四十分、復水器空気モニターが警報を発信。大気へ放出している蒸気の放射能が増加した証拠だ。放出空気路が自動閉鎖した。五分後、A蒸気発生器モニターの警報が再び鳴って放水路が自動閉鎖した。もう明らかに事故だ。 ★十三時四十八分、A蒸気発生器細管から一次系の放射能水が二次系水路に水漏れを起こしたと判断。直ちに原子炉停止操作に入る。二分後、復水器空気モニターが再びけたたましく鳴る。加圧器水位が急降下しゼロ。原子炉内が空焚き状態。炉が自動停止した。非常用炉心冷却装置が作動するが冷却水が炉に入らな

囲碁解答 黒3が好手でコウに持ち込め。すまめ

い。炉内高圧のためだ。 ★十三時五十五分、A蒸気発生器を系路から隔離する安全弁を、遠隔操作で閉めようとするが不能。マニュアルでないが手動で閉める。B蒸気発生器(正常)の蒸気を抜いて、一次系放射能水の冷却を開始しながら、続けて減圧のため二台ある加圧器逃がし弁を、遠隔操作で開こうと試みるが、何とこれも作動不能。このままでは放射能漏れが止められない!... ★十四時三十四分、加圧器補助スプレイを作動させた。ようやく減圧が開始して、四十分間ゼロだった加圧器水位が上昇し、炉心空焚きの危機は去った。十五分後、蒸気発生器内細管からの放射能水漏れが停止したが、引き続き冷却作業を継続して、翌十日早朝ようやく原子炉は冷却した。原因は蒸気発生器内細管破断であった。 この事故発生の期間中、工場外部に一切の通報はなく、PR館にも五十人の見学者がいながら誰も気付かなかつたといえます。ただ工場内から社宅に「外に出るな!」の電話があったと聞いています。後日の事故調査団評価はレベル3、ちなみにスリーマイル事故はレベル5、チェルノブイル事故はレベル8に相当するそうです。 現在も若狭地方には十四基の原子炉があり、引き続いて建設予定があると聞き暗然とします。



『かが・のと世紀の群像』著者の栗野利雄先生

本紙「記念碑めぐり」が1冊の本に

『かが・のと世紀の群像』発刊

栗野利雄先生の出版記念パーティー開く

九月十一日(土)、石川厚生年金会館で『かが・のと世紀の群像』出版記念パーティーが開かれました。このパーティーは、当協会機関紙・文化部を中心とした実行委員会が主催したもので、同部会でご活躍の栗野利雄先生(金沢市・内科)の自費出版を祝って開かれたものです。

会場には栗野先生のご友人、ご家族・ご親戚、保険医協会役員ら百十人が集い、小森機関紙・文化部部長の司会で進められました。日舞やピアノ演奏、たくさんスピーチなどが催される中で、参加者らは受付で配布された同書籍を手に、その出版をお祝いしました。

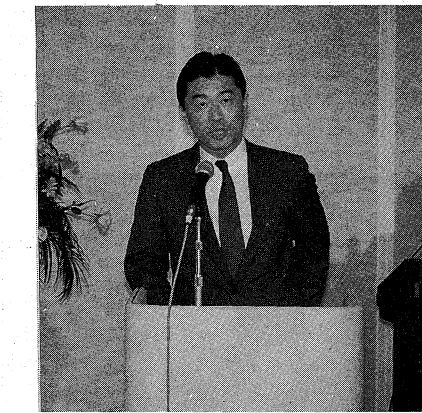
この書籍は、『石川保険医新聞』の一九九〇年三月号から本年八月号までに連載



開会のあいさつ
平松昌司会長



開会のあいさつ
大野幸治副会長



司会を務めた小森貴
機関紙・文化部長



『かが・のと世紀の群像』の表紙
を描いた安藤良一理事

九月十一日(土)、石川厚生年金会館で『かが・のと世紀の群像』出版記念パーティーが開かれました。このパーティーは、当協会機関紙・文化部を中心とした実行委員会が主催したもので、同部会でご活躍の栗野利雄先生(金沢市・内科)の自費出版を祝って開かれたものです。

会場には栗野先生のご友人、ご家族・ご親戚、保険医協会役員ら百十人が集い、小森機関紙・文化部部長の司会で進められました。日舞やピアノ演奏、たくさんスピーチなどが催される中で、参加者らは受付で配布された同書籍を手に、その出版をお祝いしました。

この書籍は、『石川保険医新聞』の一九九〇年三月号から本年八月号までに連載



お孫さんのピアノ演奏や、たくさんの方々のご来賓による日本舞踊や語り、スピーチなどが行われ、終始なごやかなパーティーとなった。

『かが・のと世紀の群像』をお求めになりたい方は、保険医協会までお電話でお申し込み下さい。☎0762 (22) 5373

書評『かが・のと世紀の群像』



A 4判・157頁
1冊 3000円(送料別)

人間ドラマが満載
これは栗野先生自身の
すばらしい記念碑です

大石博司(金沢市・産婦人科)

金沢駅前からホリデイ・インの前を通り、左に折れて内灘方面に向かつて線路下のガードをくぐると、すぐ左に知覚寺があった。そこには今は新幹線の高架のコンクリートが建っていて、寺と墓は数年前に神田町一丁目へ移転している。この寺に、日本最後の敵討ちをした近藤忠之丞の墓があるという。金沢の高岡町というほんの身近な空間で映画やドラマさながらの活劇があったなんて、ぞくぞくするほど空想力を刺激される。

ドクター栗野の『かが・のと世紀の群像』には、郷土の記念碑をめぐってこんな人間ドラマが満載している。

天保大飢饉で年貢米減免嘆願書を出して、公事場(くじば・藩の最高裁判所)のことで、やはり現

この本のもう一つの楽しみは、「記念碑シリーズ」の合間に挿入されたドクター栗野の油絵である。過去の事件を読んで揺さぶられた心を、しばしなごませるオアシスであろうか。

彼の絵は、単に物を正確に写す絵ではなく、物の形と色で自分の「心」、すなわち気分、情緒、好き嫌い、意志、喜怒哀楽を表現しようとしている絵である。従って実際の事物の固有の色とは異なった形や色彩が画面に溢れて、はじめはとまどうかもしれないが、その裏に作者の心をみつめると、それがあざやかに浮き出てくる。人は西瓜に包丁の突き刺さった絵なんて見たことがあるだろうか。画面で見えない包丁の刃がこちらの心に感じられ、冷気さえ覚える。ドクター栗野の心の深層に何か鋭利なものへの恐怖があり、それがこちらのそれと響き合うのである。また、添えられた俳句も絵に共鳴している。

「西瓜とて斬るは無残の行為なり」

そんな意味で、この一連の絵はあきらかに次元の高い絵画であって、ピカソやヴァンドゥーゲンさえ連想させるのである。

栗野先生、ご出版おめでとう。これはあなた自身の素晴らしい記念碑ですよ。

在の大手町の裁判所の奥にあったらしい)で拷問をとまなう吟味を受けて亡くなった五人や、流刑された人々をしのぶ天保義民の碑が、金沢駅西中央公園にあると知って、さっそく行って来た。百五十年前の飢饉と今年の米の冷害不作のニュースと重ねて思い、感無量であった。

記念碑とはこんな人間ドラマを忘れ難く思った人々が作ったものであるから、そのいわれを調べて記述したものが面白いのもっともであるが、この本がかくも感動的であるのは、ドクター栗野の筆力によるところも大きい。また、『石川保険医新聞』の連載企画として「記念碑シリーズ」を立案し、その担当者に栗野先生を推薦した方の眼にも刮目している。

寄稿

加州金沢・蘭学事始

金沢聖霊病院常務理事

大戸

宏

3回連続
その2

明治十年代は石川県下でしばしばコレラが流行するが十二年七月は死者二万一千百四十人という悲惨な被害があった。政府は一千元を県に助成、医学校を通じてその予防に力を注ぐ。一般にコレラと言われたこの伝染病は井戸水が原因であ

り医学生たちは、その分析検査に懸命の努力をする。医学校が信頼を克ち得た大きな出来事であった。十六年の六月、医学士・木村孝蔵が医学校一等教諭として着任、国試なしで医師になれる甲種医学校に昇格、田中校長が辞職して、

中浜東一郎(東帝大医学部卒)が後任校長となった。中浜はジョン万次郎の長男であった。辞任した田中は博労町に県内初の私立尾山病院を開設、十八年二月に開院に漕ぎ付ける。この年、金沢病院はドイツの技術を取り入れた総合病院に充実、内科が中浜、外科が木村、眼科が山崎兵四郎、産婦人科が菅沼貞吉といった顔触れで学校の付属病院となる。

維新直後に充足した異独自の医学教育機関はオランダ、ドイツの技術を吸収して多くの人材育成を果たして行くが、当時の様子を知る逸話も数々残っている。創設早々の藩立医学館は教師も学生も刀を差し剣術に励む手でメスを握った。メスは良安やスロイスが持つて来た僅かに過ぎず手が器用な伍堂卓爾と馬嶋健吉が、鶴来まで出掛けて行って各種類の刃を模倣する。「素晴らしい切れ味だ。鉗子や鉋も作って欲しい」スロイスが手放して誉め伍堂ら助手は面目を施すのであった。まだ麻酔が未熟なため外科手術は腫物を切開する程度だったが、ある日、旅団の兵卒が虫歯炎で来館した時、スロイスが執刀、津田と太田が介助して実技見学と講義が行なわれることになった。



スロイスと金沢医学館の教師 皆、和服姿で帯刀している
前列左から津田淳三、太田美濃里、スロイス、田中信吾
後列左から伍堂卓爾、松田壬作、長嶋健吉、横井三柳 1873年(明治6年)



石川県はじめての私立・尾山病院 1884年(明治17年)
田中信吾・金沢医学校長が退職してから、金沢市博労町に
私立・尾山病院を開設し初代院長となった。

瀬が十月、チフスで死去するが、献身治療に当たった中浜が臨終の際「寿命という事です」と言った言葉が県令に深い感銘を与えたとされ、後々の流行語になる。間もなく中浜は内務省に転じ、外科部長の木村が後任校長となった。十九年六月またまたコレラが大流行、県内の患者は四千四百九十人、死者三千五百五十二人に及ぶ。予防に携わった医学生にも六十七人の犠牲が出、政府はすべて殉職の扱いをとった。ホルトマンが言った予防衛生を「今こそ実践しなければならぬ」と木村は学生たち

に「素晴らしい切れ味だ。鉗子や鉋も作って欲しい」スロイスが手放して誉め伍堂ら助手は面目を施すのであった。まだ麻酔が未熟なため外科手術は腫物を切開する程度だったが、ある日、旅団の兵卒が虫歯炎で来館した時、スロイスが執刀、津田と太田が介助して実技見学と講義が行なわれることになった。

この時、催眠術がスロイスによって実施され、患者が昏睡するうちに、手術が進行、一同、師の演技に舌を巻く。「欧州では失神気絶させて手術する場合が多く、回復も順調である。催眠の手段はその一つである」上機嫌で学生にノートさせるスロイス「皮肉の痛みは手足の指が一番ひどい。心臓に近づく部位ほど緩慢となる」そんな表現で教え、小さな質問にも親切に答えて行くので好評だった。「頭蓋の標本が必要だが津田君、横井君、一つ作ってくれないか。藩の監獄から刑死遺体が来ているが解剖が済みしだい、首を切断

して試みなさい。仕上げを綺麗にね」俗に「ちよんぼの三吉」「売女の紺」と言われた盗人の男女一対で、指示された二人は早速、首を切放し館の裏庭で、まず脳味噌をえぐり出す作業に精を出した。アルコールもホルマリオンも無い時代、腐臭や絡みつく髪の毛に閉口しているのを見て、師はこう言う。「自然に任せたらいい。犀川の川原に転がしておけば鳥と蛆が掃除する筈。一ヶ月で出来上がる。それから石炭酸にひたして磨けば立派な頭蓋が手に入る」そう指導する軍医出のスロイスだった。(次号へ)

長雨と低温の夏も終わり、秋晴れの空も見られるようになった。協会の今年度後半の諸行事も次々開催される予定である。まもなく発行されることが報告された。この二冊の刊行物をもとに「審査委員との懇談会」と「老後問題を考える石川のつどい」を開催することが確認されたが、特に後者については他団体と共催であり、どのように保険医協会の主体性を確保していくか白熱した議論が展開された。そのほか、「医薬品取引契約書」において新たな動きが報告され、会員にこの問題についての的確な判断をしてもらう資料を送付することを決定した。とにかく医療を取り巻く情勢の変化まことに激しく、協会の役割もますます重要になってきたようだ。(喜多 記)

9月度理事会点描

『福祉マップ』改訂版
いよいよ10月に発刊

第11回理事会
9月21日・13人出席

春から準備を進めてきた学術保険部の『再審査請求の手引き』や医療福祉部の『福祉マップ』の編集作業も最終段階となり、

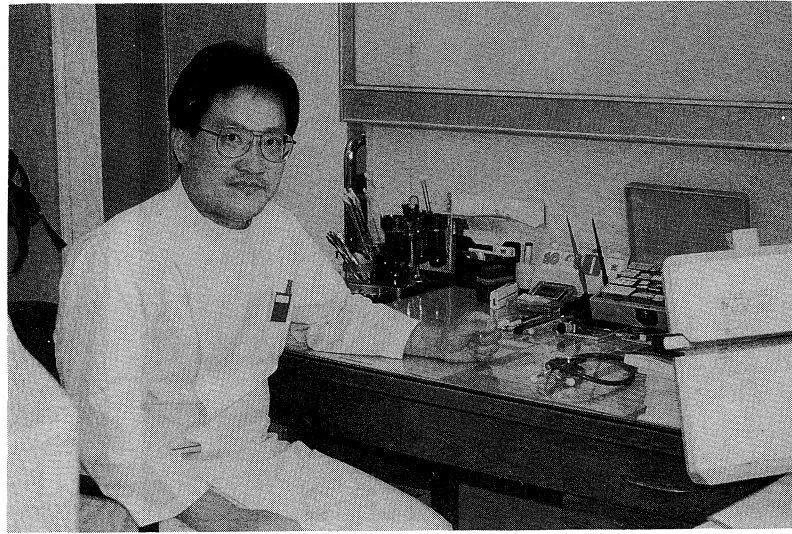
訂正とお詫び

本紙九月号(第二四八号)二面の、「保団連夏季学習会」報告記事で、第三分科会と第四分科会の報告者の氏名が入れ替わってしまいました。正しくは次の通りです。
第三分科会報告者→徳田剛爾先生
第四分科会報告者→中田 理先生
以上、訂正の上、お詫びいたします。(編集部)

医事紛争問題講演会の案内

- テーマ 「医事紛争」を考える
- 講師 木梨松嗣法律事務所・弁護士 木梨 松嗣 先生
- とき 10月30日(土) 午後7時
- ところ 金沢都ホテル 5階能登の間
- 申込み 協会までお電話で076-233-5373

写真は能登印刷発行「石川写真百年・追想の図譜」より



他分野について、積極的に学んでいきたいと抱負を語る洞庭先生

おねおね

62

洞庭賢一 先生の巻

洞庭医院院長
金沢市広岡町2街区5

地域住民のニーズに 答えられるように

—まず先生のご略歴からお聞かせください。

一九七八年に名古屋保健衛生大学を卒業後、循環器内科に入学しました。専門は、ME(医用電子工学)、中でも心電図のコンピューター解析、シミュレーション実験などの仕事をしていました。

—開業された動機についてお話をください。

一九九〇年に父が急逝したものですから、その後を継ぐかたちになりました。いずれは帰ろうと思っていたのですが、まだまだ大学でもやりたいことがありましたが、自分としてはこんな

なにも早く開業するつもりはなかったのです。

—開業されたからのご感想はいかがですか。

父の姿をずっと見てきたから、開業しての違和感を感じてはいません。大学のころと違って、病気の方々を社会生活も含めて全体として診ることができていると思います。

—開業されるときに奥様の反対はなかったですか。

最初は慣れなかったようですが、最近では子供の事も離れてきましたので、いろいろ手伝ってくれて助かっています。

—一九九二年に現在地(広岡町)に移転されたわけですが、なにか期待するところがありませんか。

いや、もともとこの場所に家族が暮らしていたのです。私もこの家で生まれ育ったんですよ。といっても本当に産まれたのは母の実家でのようですけれどね。

(笑い)昔はこの辺りは家も立て込んでいて道も狭かったものですから、父が別の場所に病院を求めたようです。最近、周辺の土地整理も終わったので病院を戻したんですね。

—病院が新しく気持ちの良い雰囲気ですね。玄関



医院の前でスタッフのみなさんと

に熱帯魚がありましたね。

金魚とか熱帯魚を飼うのは、わりに好きです。でも、水槽が結構汚れますから洗うのが大変なんです。日曜日の私の仕事になってい

るんですが、嫌になっちゃいますね。(笑い)

—スタッフに関するご苦労はありませんか。

最近してくれた若い方以外は、父の代からのスタッフで、私より年長なんです。父の時代にはいろいろあったようですが、良い人たちが残ってくれました。患者さんに優しく一生懸命やっ

てくれていきますので、感謝しています。おかげで、今のところ従業員に関する苦労はありません。

—お子様は何人いらっしゃいますか。

小学校五年生、四年生、幼稚園の年中の三人で、み

便利グッズご紹介

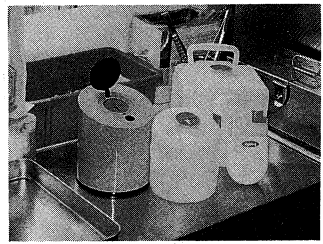
使用済み針容器 ハリポン

針事故と経費削減に 一石二鳥の「ハリポン」

紹介者 高松弘明(金沢市・内科)

一九九二年七月より、医療廃棄物の適正処理が排出者である医療機関にとっては厳しく、また、委託処理の費用も増えています。

七月四日に当協会主催催しました「院内感染の正しい知識とその予防」で舟田久先生の講演をお聞きした中で医療従事者のB型肝炎ウイルス感染事故の四分の三が注射針などによる刺傷であり、そのほとんどがリキヤブ



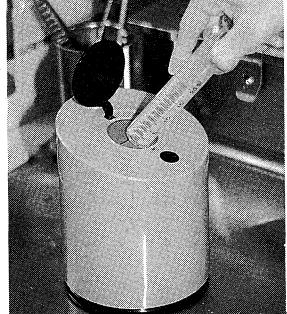
用途に応じて、応診用(右下)など、3種類のタイプがある

草栄堂より「ハリポン」を紹介され、看護婦たちと操作してみたところ簡単に針が外れました。真空採血管針の操作にはちよっと時間が掛かりましたが、今は慣れて当医院での使用済み針は全てハリポンで処理しています。最近、往診先でも使える小型のものが発売されました。

ハリポンの一番の利点は、針事故の防止と感染・非感染性廃棄物が簡単に分別できて、感染性廃棄物の減量化、経費の削減になることです。ぜひ皆さんにおすすめます。

ご注文・お問い合わせは(株)中栄草栄堂まで
お電話で
☎0762(52)3111

容器はテーブルに固定できるため、片手で簡単に針をはずすことができます。



いた時からお世話になっていました。保険医新聞も毎号楽しみに読ませてもらっています。ただ、もう少し

洞庭先生をお訪ねしたのが九月のある火曜日。一日の診療が終わる短い秋の日、先生が自ら入れてくださったお茶、とてもおいしく頂戴しました。ありがとうございました。

会員の横顔がこころみられるような、より親しみのあ

聞き手/小森貴編集長
(金沢市 耳鼻咽喉科)

栗野利雄先生の 記念碑めぐり [44]

切支丹牢舎跡の碑 (金沢市・卯辰山)



切支丹牢舎跡の碑と栗野先生(左)。この日の取材はお嬢様の浅村和美さん(右)とお孫さんの浅村茉莉ちゃん(5歳)も一緒に



8医療機関から34人が参加して行われた「飛騨大鍾乳洞・高山市内観光と下呂温泉バスツアー」

第21回家族・従業員との立寄り会に参加して

楽しい時間を過ごせた二日間

早川 彰一

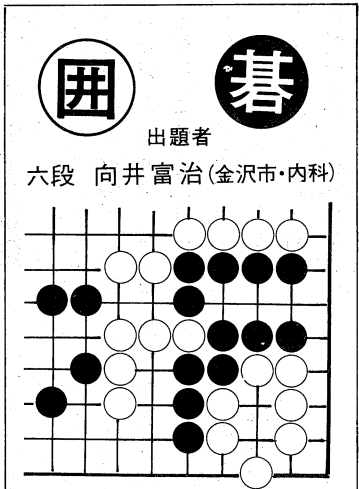
異常気象の年とは思えない、秋晴れに恵まれた北陸路を、バスは下呂に向かってひた走りました。土曜の仕事を終え、身支度もそこそこに駆け付け、すぐ出発、昼食。なんと慌ただしい、つかの間の旅ですが、何となくうれしい気分です。数河高原で小休止、時間どおり湯の島館に到着。相部屋となる初対面の井沢先生へのあいさつも大浴場で紅葉の季節にまだ間があるせいか、落ち着いた旅館の

節団となりました。さてお互い心配した「いびき」の攻防もなく、翌日は飛騨大鍾乳洞へ。洞を作った自然の力と悠久の時間に感心。高山の町はやはり、いつ行っても何かほのぼのとしたものを感じさせてくれました。朝市のにぎわい、宮川の清々とした流れ、町中の霧閉気、どの中にも少しづつ、自分の覚えている遠い昔の匂いがあります。三時間ほど高山散策を楽しみ、一行は再び車中の人となり、ビデオのあと画面は大相撲千秋楽結びの一番「貴」の意地を見せた一番に思わず拍手がわきました。今回もまた自分なりに楽しい時間が過ごせ、大変いい旅行でありました。(大倉外科医院事務局長)

豪華な食事と露天風呂に満足

棚田 和子

九月二十五日、二十六日の両日、秋晴れに恵まれて石川県保険医協会の「下呂温泉と飛騨大鍾乳洞・高山市内観光バスツアー」に参加させていただきました。初日、下呂温泉では、普段は味わえない豪華な夕食とカラオケ大会で盛り上がり、夜は、月や星を見上げながらの露天風呂など、秋の一日を大変楽しく過ごすことができました。二日目は、大橋さんという人が発見した飛騨大鍾乳洞や大橋コレクション館も合わせて見学しました。特別に時価二億円の金塊や、一角獣の角と言われるものなど、思いもつかない珍らしいもの、また高価なものなど目の保養が十分できました。高山市内では、朝市や宮川に放流されている鯉、人力車、飛騨高山の古い街並みなど、小京都と言われる



藤井勝三段と新田修治五段の対局に現れました。黒番でピンチです。何とかありませんか。

卯辰山山中に 切支丹配流跡地

金沢市卯辰山にある切支丹配流(はいる)跡地は、三カ所に分散し、「織屋」(はたや)「湯座屋」(奥のときえ)の名で呼ばれている。加賀藩に配流されたのは二十藩三千三百九十四人の内、五百六十六人である。長崎の大浦天主堂は、パリ外国宣教会によって建てられ、フランス寺と

を拒否したことがきっかけであった。切支丹による自葬が度重なり、壇那寺との関係を絶ちたいとの申し出は、幕府初来の寺請制度に対する爆弾的抵抗であった。その後、奉行所は切支丹の内情を探ってブラックリストを作り、一八六七年(慶応三年)七月十四日、秘密教会、聖マリア堂へ嵐の夜に捕吏が踏み込んだ。切支丹捕縛投獄に対して各国が抗議したが聞き入れず、一八六八年六月七日(慶応四年)太政官らにより浦上切支丹は流刑人として処分され、各藩へ配送されることになった。

卯辰山へ配流された切支丹は主として浦上の中郷の人々であった。彼らは二つのグループに分けて流され、一方の百余人のグループは真冬の荒れた玄海灘を通り瀬戸内海を過ぎ、大阪から伏見へ海津から雪の中を歩き続けた。卯辰山の織屋へと二階建ての収容所へ入った。もう一組の四百余人は玄海灘を通って七尾港へ上陸した。その後、雪の中を歩いて卯辰山へたどり着き、湯座屋へ収容された。この地はかつて湯治客が泊っていたところであったが、そのころは湯も枯れていた。

信徒に対しては乏しい

(井沢内科医院看護婦)